

**2007 年 8 月改訂 (第 5 版)

*2006 年 4 月改訂

日本標準商品分類番号

8 7 2 6 1 5

外用殺菌消毒剤 日本薬局方

エタノール「アトル」

Ethanol

[貯 法] 遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。
[使 用 期 限] 3 年 (ラベルに表示の使用期限を参照すること)

承認番号	16100AMZ02636000
薬価収載	1999 年 10 月
販売開始	1999 年 10 月
再評価結果	1982 年 8 月

【禁 忌】(次の部位には使用しないこと。)
損傷皮膚及び粘膜 [損傷皮膚及び粘膜への
使用により刺激作用を有する。]

**【組成・性状】

1. 組成

15℃でエタノール(C_2H_6O) 95.1～96.9 vol%を含む(比重による)。

2. 製剤の性状

本品は無色澄明の液である。本品は水と混和する。本品は燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。本品は揮発性である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】

本品 830mL を精製水でうすめて 1,000mL とし、これを消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- (2) 広範囲または長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等
皮膚 ^{注)}	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用すること。

使用時

- (1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
- (2) 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には腐蝕を防止するために 0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーター等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
3. 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。

【包 装】

500mL, 16L

【文献請求先】

*株式会社アトルファーマ 鹿児島工場

【製造販売元】

*株式会社アトルファーマ
鹿児島市谷山港 2－3－5